

令和7年度

横浜市立大学「実験動物飼養施設」現地調査 報告書

調査対象施設： 福浦キャンパス 飼養保管施設 4箇所

調査日時： 令和8年 2月27日(金曜日) 14:00～

調査員： 2名(八景C委員1名、鶴見C委員1名)

調査員総評：

- (1)動物実験センター：SPF、クリーン施設として全て適切に管理されている。
(2)疾患モデル解析センター：SPF、クリーン施設として全て適切に管理されている。
(3)飼養保管施設（生理学）：コンベ施設としておおむね適切に管理されている。
ケージ数の記録が必要と思われる。
(4)飼養保管施設（免疫学）：コンベ施設として全て適切に管理されている。

調査項目：

評価： ○：良い、△：改善を要す、×：大幅な改善要す、禁：使用禁止

番号	項目	評価 *(1)	評価 *(2)	評価 *(3)	評価 *(4)
1	空調機・窓の封鎖によって、飼育室の温度・湿度が適切に制御されている	○	○	○	○
2	適切な照明に、明暗時間が制御されている	○	○	○	○
3	適切な飼育ラック、飼育ケージを使用している	○	○	○	○
4	ケージ当たりの飼育頭数が適切である	○	○	○	○
5	床、内壁等がエタノール等による消毒が可能な構造である	○	○	○	○
6	飼育器具の洗浄、消毒が可能な設備を有し、適切に飼養されている	○	○	△	○
7	専用作業衣、清掃道具、消毒薬が常備されている	○	○	○	○
8	実験動物が逸走しない構造及び強度を有している	○	○	○	○
9	飼育室あるいは飼育ラックに臭気対策が講じられている	○	○	○	○
10	動物死体を一定期間保管するための冷凍庫が設置されている	○	○	○	○
11	廃棄物を一定期間保管するための専用容器が備えられている	○	○	○	○
12	飼養保管マニュアル、災害対策マニュアル、緊急連絡網が策定されている	○	○	○	○
13	使用動物の微生物検査を実施し、結果を保存している	○	○	○	○
14	入手先、飼育履歴、病歴等に関する書類（年間使用数の根拠資料）が保存されている	○	○	○	○
15	飼養施設の作業記録が保存されている	○	○	△	○

※(1)…動物実験センター、(2)…疾患モデル解析センター、(3)…飼養保管施設（生理学）

(4)…飼養保管施設(免疫学)